



中央図書館だより

本 どう？

Hon do?

NO.101

(令和4年9月14日発行)

特集コーナー紹介



◆宇宙えほん (1A)



◆うさぎのほん (1A)



◆敬老の日
おじいちゃんおばあちゃん (7番棚)



【新規特集】

一般特設コーナー

◆秋の本 (特設 1)

◆敬老の日 (特設 5)



■新着本紹介■

新刊の一部をご紹介します



一般書



『ソロキャン!』
秋川滝美
(朝日新聞出版)



『バズレシピ
史上最強の痩せめし編』
リュウジ
(扶桑社)



『恐竜超世界
IN JAPAN』
植田 和貴
(日経エンタテインメント)

『すばらしき宇宙の図鑑』野口聡一 (KADOKAWA)
『ストレス脳』アンデシュ・ハンセン (新潮社)
『フランス人の赤ちゃんは朝までひとりでごっすり眠る』
レロちひろ (フォレスト出版)
『ウクライナにいたら戦争が始まった』
松岡圭祐 (KADOKAWA)
『うえから京都』篠友子 (角川春樹事務所)

児童書・絵本



『なんで勉強するんだろう?』
齋藤孝
(幻冬舎)



『すきなものみっぴなあと』
ウェンディ・ドゥール
(化学同人)



『川まつりの夜』
岩城範枝
(フレーベル館)

『SDGsのサバイバル』韓賢東 (朝日新聞出版)
『法律がわかる! 桃太郎こども裁判』
岩貞るみこ (講談社)
『ガリレオの事件簿 1』東野圭吾 (文藝春秋)
『天才!? 木村のヤバすぎる発明』桐谷直 (PHP 研究所)
『これ、なーんだ?』今井しのぶ (マイルスタッフ)
『ひめさま! いじがかせをひいたでござる』
丸山誠司 (光村教育図書)

■中央図書館カレンダー■

※市内の新型コロナウイルスの感染状況によって、おはなし会などのイベントは中止になる場合があります

9月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

10月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

- は休館日
- ◇しあわせおはなし会 10:30~
- おはなし会 14:00~
- 古文書学習会 14:00~
- △みずのわ読書会 10:00~

【開館時間】火~金曜9時~19時 土・日、祝日9時~17時

※9月のみずのわ読書会はお休みです

問合せ先 天草市立中央図書館
TEL: (0969) 23-7001

職場体験レポート



天草高校、稜南中学校の学生たちは、カウンター業務や配架、POP や特設コーナーの作成などを体験しました。福岡女子短期大学の山崎さんは、さらにレファレンスサービス(利用者からの質問への回答)の演習など、司書の仕事をさらに深く体験してもらいました。



夏休みのワークショップ 漂着したクジラ・イルカから分かること



8月21日(日)、長崎大学水産学部の天野雅男教授を講師に、小学4・5・6年生とその保護者16組が参加しました。子ども達は、熱心にメモをとったり、クジラの骨や「尾びれ」を見くらべて当てるクイズに挑戦したりと、目を輝かせて楽しんでいました。

中央図書館での「漂着したクジラのパネル展示」では、8月の一か月間に、延べ千人以上の見学者で賑わいました。

おはなし会で絵本の読み聞かせを披露

先日のおはなし会では、ありすボランティアとインターンシップの山崎さんが参加し、読み聞かせを披露してくれました。



河浦図書館利用時間変更のお知らせ

河浦支所・河浦図書館の空調改修工事に伴い、令和4年9月1日(木)～令和5年1月31日(火)まで利用を一部変更させていただきます。

期間中のサービスについては下記のとおり対応します。

火曜日～金曜日：午前9時～午後5時

※土日・祝日・月曜の対応はできません。

- 予約図書を受取・貸出(電話、ホームページで予約を受付けます)
- 電話でのお問い合わせ(0969-74-8111)
- 移動図書館(通常どおり)
- 返却ポストは通常どおり利用できます

コラボ特設コーナー紹介 市役所などの各課との新規コラボコーナー



◆まちゼミ
(産業政策課)(特設3)



◆プラス10から始めましょ
自分の脈を確認してみよう
(健康増進課)(特設2)



◆世界アルツハイマーデー
・アルツハイマー月間
(高齢者支援課)(特設1)

熊日の日曜日、五木寛之さんの「新・地図のない旅」を毎週楽しみにしています。前回のテーマは「ポケ」でした。五木さんは自身がポケはじめたことを感じるようになったそうで、「目下の楽しみの一つは、これからポケを意識し、どこまでポケを生かした生き方が出来るかということで、『ポケかた上手』という本を書かれるそうです。その五木さんが『捨てない生きかた』を最近出版されました。断捨離上手な同僚がいる中、整理整頓苦手な私には救いのようなタイトル、早速手に取ってみると、法然・親鸞が捨てたもの、この国が捨てたもの、人付き合いの極意まで沢山の捨てるものも書かれていましたが、「モノは記憶を呼び覚ます装置、人は裸で生まれて、ゴミに囲まれて死んでいく、モノたちに囲まれて過ごす人生はとても豊かなもののように思う」と捨てられない想いが熱く語られています。終活を進める人が多い中、挑戦的な本を出版される90歳、「歳をとる楽しみはつきない」という五木さんの自由な思考に年を重ねていくことが楽しみになる一冊でした。個人的には、がらくたに囲まれての最後は悲しいので、そこそこの断捨離を、楽しみながらやりたいと思っています。

今月は敬老の日読みたい読書コーナーを設置しています。

81歳でゲームアプリを開発した若宮正子さんの本『老いてこそデジタル』ではシニアのための便利なツールが沢山紹介されています。私はLINEのマイグループを知り、便利に使っています。

人生の先輩方の本で元気と刺激をもらっていただきたいと思います。

【文・中央図書館長】